



平成 28 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 和 伸  
 (コード番号 6986 東証第一部)  
 問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行  
 業 務 管 理 本 部 長  
 T E L 0 4 7 5 ( 2 6 ) 0 1 6 0

第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、  
 通期連結業績予想の修正および営業外費用の計上に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 5 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との差異および平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）において為替差損を営業外費用に計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,900	100	△600	△1,270	△29.24
実 績 値 (B)	32,308	△96	△1,155	△1,835	△43.20
増減額 (B-A)	△592	△196	△555	△565	—
増減率 (%)	△1.8	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	35,131	654	976	190	4.36

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	66,900	1,800	1,450	200	4.60
今回修正予想 (B)	65,800	600	△400	△1,800	△42.35
増減額 (B-A)	△1,100	△1,200	△1,850	△2,000	—
増減率 (%)	△1.6	△66.7	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	69,830	1,493	1,140	△1,946	△44.75

(差異および修正の理由)

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前回公表時は、生産器材事業では、第2四半期以降、国内市場の自動車向けが回復すると見込んでいましたが、プレスおよびモールド製品が見込みより大幅に悪化し、韓国も同様に市場の低迷が落ち着くと見ていましたが、スマートフォン向けや自動車向けが見込みより大幅に悪化しました。また、電子部品事業では、売上高はほぼ想定どおりでしたが、収益面では、タッチパネルの新製品は、新技術製品であり、その初期費用を従来製品と同様に見込んでいましたが、想定を大幅に上回る結果となり、蛍光表示管および蛍光表示管モジュールの需要も計画に比べて弱含んだことなどから前回想定を下回りました。

また、第2四半期末の為替レートは、1米ドルあたり103円を見込んでいたところ101円となり、為替差損が増加しました。

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回公表時に比べて、電子部品事業のタッチパネルの売上高は増加する見込みですが、生産器材事業の国内自動車向けの回復が期後半まで遅れる見込みであり、韓国も市場の低迷によりスマートフォン向けや自動車向けがさらに悪化すると見込んでいます。また、収益面では、電子部品事業において、第2四半期以降のタッチパネルの新製品に関する初期費用の大幅な増加が第3四半期も継続すると見込んでいます。

さらに、最近の状況を考慮し、為替レートの想定を第3四半期連結会計期間以降、1米ドルあたり103円から100円の円高方向に修正したことなどから、平成28年8月5日に公表いたしました平成29年3月期通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報を合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があります。ご承知おきください。

### 3. 営業外費用の計上

#### (1) 営業外費用の内容

平成29年3月期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)において、為替相場の変動により為替差損1,285百万円を営業外費用に計上いたしました。

なお、上記の金額は平成29年3月期第2四半期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場の状況により変動する可能性があります。

#### (2) 業績に与える影響

上記の為替差損が業績に与える影響につきましては、本日公表いたしました「平成29年3月期第2四半期決算短信[日本基準](連結)」をご参照ください。

以上